



第25回参議院議員選挙

サービス連合 推薦候補者一覧

◎サービス連合は **7月21日(日)** に予定されている **参議院議員選挙** に向けて、サービス連合が掲げる **政策を共有する候補者を推薦しています。**

2019年6月28日現在の推薦候補者は次の通りです。

(掲載は推薦決定の順です)

比例代表



もりや たかし

新人
立憲民主党

■現職

立憲民主党参議院比例第4総支部長
私鉄総連 交通対策局長

■生年月日

1967年6月28日

■出身

東京都檜原村

■経歴等

私鉄関東地方連合会東京ブロック青年女性協議会 議長
私鉄関東地方連合会 副執行委員長
関東地方交通運輸産業労働組合協議会 事務局長
私鉄総連 バス対策部長

愛知選挙区



おおつか こうへい 大塚 耕平

3期
国民民主党 公認

■現職

参議院議員(3期18年目)

■1959年名古屋市生まれ

■議員歴

2001年 参議院議員選挙初当選(愛知県選挙区)

2007年 参議院議員選挙2期目当選(同上)

2009年 内閣府副大臣(金融、郵政改革、経済財政、地域活性化・地域主権推進、規制・制度改革、拉致問題等を担当)

2011年 厚生労働副大臣(厚生分野担当)

2012年 拉致問題特別委員会委員長

2013年 参議院議員選挙3期目当選(同上)

2017年 民進党代表

2018年 国民民主党共同代表

広島選挙区



もりもと しんじ 森本 真治

1期
立憲民主党 推薦
国民民主党 推薦

■所属委員会

総務委員会、行政監視委員会、消費者問題に関する特別委員会

■党役職

広報局副局長、広島県連代表

■生年月日 1973年5月2日

■広島市安佐北区可部町生まれ

■経歴等

2003年

広島市議会議員(10年)。

市議会では、消防上下水道委員長、決算特別委員会、議会運営委員会、経済環境委員会、建設委員会、各副委員長等を歴任

2013年

参議院議員(広島選挙区)に初当選

三重選挙区



よしの まさひで 芳野 正英

新人

立憲民主党 推薦

国民民主党 推薦

■経歴

1987年四日市市立 四郷小学校 卒業

1990年四日市市立 笹川中学校 卒業

1993年三重県立四日市南高校 卒業

1998年横浜国立大学 経済学部 卒業

2001年京都大学 法学部 卒業

在学中から政治サークルで政治家と触れ合い卒業後は国会議員の秘書を約9年務める

2011年四日市市議会議員に当選

2015年三重県議会議員に当選

■現在

三重県議会戦略企画雇用経済常任委員会 委員長

三重県ホッケー協会 会長、四日市市アーチェリー協会 会長

富田中学校 PTA 会長

障がい者施設や保育園など福祉施設の役員

長野選挙区



はた ゆういちろう 羽田 雄一郎

4期

立憲民主党 支持

国民民主党 公認

平成4年玉川大学文学部 卒業 保育士の資格を取得

平成4年4月～平成9年3月伊藤忠記念財団（青少年健全育成のため）勤務

平成9年4月～平成11年9月衆議院議員 羽田孜秘書

平成11年10月参議院議員初当選・平成11年農林水産委員

平成12年民主党政権奪取運動委員会副委員長、議院運営委員会委員他

平成13年7月参議院議員 当選（2回）

平成15年農林水産委員会理事、参議院国会対策委員長代理 他

平成16年農林水産委員会筆頭理事、参議院国会対策委員長代理他

平成17年国土交通委員長、平成19年7月参議院議員 当選（3回）

平成21年参議院国会対策委員長代理、理議院運営委員会筆頭理事他

平成22年7月～平成24年6月参議院国会対策委員長

平成24年6月～平成24年12月 国土交通大臣

平成25年国土交通委員会委員、共生社会・地域活性化調査会委員、政治倫理審査会委員

平成25年7月参議院議員 当選（4回）参議院幹事長、民主党幹事長代行

平成26年7月農林水産委員、国家基本政策委員他

平成26年10月法務委員、国家基本政策委員、選挙制度協議会座長

平成27年1月厚生労働委員会委員

秋田選挙区

てらた しずか

寺田 静



新人

立憲民主党県連 支援

国民民主党県連 支持

1975（昭和 50）年、横手市生まれ。横手南中学校卒業。横手城南高校中退後、大検取得、育英会の奨学金を受け早稲田大学入学。卒業後、東京大学生産技術研究所勤務。また、不登校だった自らの経験もあり東京シューレ等のフリースクールにてボランティアを務める。この間、弟が突然の病に倒れ、遷延性意識障害（いわゆる植物状態）を経て亡くなる。この出来事が人生に対する考え、生き方に大きな影響を与えた。

その後、米国に留学。帰国後、寺田学や川口博両衆議院議員らの公設秘書、電気自動車普及協会勤務。さらに、英語をいかして、県内事業者の海外事業等をサポートしてきた。ひとりの母親として、教育、医療、介護、環境、地方が抱える問題等に関心を抱く。
夫と息子（5歳）の3人家族。